

市民協働会議の協議内容／作業の流れ

【ステップ 1】後期計画の点検・評価

第 2 回～ 3 回（8 月～ 9 月）

■ 手順

(1) 3 段階評価

まちづくり評価書を使い、目標値に対する実績値と、市の評価を参考に、政策全体として評価を記入します。評価は、「順調」「横ばい」「不調」の3段階で記入します。

< 作業 1 >

- ① まずはそれぞれ頭の中で評価およびその理由を考える（数分間）
- ② 自身の評価を、付箋に書いて貼りだす
- ③ 分科会で評価の理由について意見交換
- ④ 分科会で話し合い、評価を確定させる

【総合評価の例】

- 1) 指標が 3 つあり、横ばい 1 つ、不調 2 つ
→ 不調が多く、全体としては「不調」
- 2) 指標が 5 つあり、順調 2 つ、横ばい 1 つ、不調 2 つ
→ 順調、不調同数のため、全体としては「横ばい」
- 3) 指標 3 つのうち、順調 1 つ、コロナ禍の影響で数値が急落した不調 2 つ
→ コロナ前が順調な推移であれば、全体として「順調」
コロナ前も不調ぎみであれば、「不調」または「横ばい」

※あくまで例であり、推移、市の分析を踏まえ、ご判断願います。

※目標指標シートについて

「評価」欄は、指標の実績値に対する市の自己評価です。目標値に対する実績値を表示しています。実績に対する市の分析等です。

指標評価シート

(基本目標 1 元気で魅力あるまち)

政策 (1)	地域資源を活かした特色あるまちづくり
--------	--------------------

【基本計画の目標指標】

指 標	実績値 (R9)	目標値
能代市を好きな市民の割合 (市民意識調査)	54.6	50.0
基準値	50.0%	

推移の分析・考えられる要因	評価
後期基本計画からの新指標であるが、目標値に対して市民意識調査の結果は順調に推移している。能代を好きと思う要因は、自然や文化等の地域資源のほか、子育て支援などの各種施策、公共交通や買い物環境等、様々考えられる。引き続き住民ニーズの把握に努め、各種取り組みを推進していく。	順調 (○)

指 標	実績値 (R9)	目標値
このまちが住みやすいと思う市民の割合 (市民意識調査)	46.9	60.0
基準値	53.9%	60.0%
	(R3年度)	

推移の分析・考えられる要因	評価
昨年度比で微増しているものの全体的には横ばいで推移している。「どちらともいえない」という回答もかなり多く (R6調査: 225件、28.7%)、他地域と比べ住みやすさを感じられる実感を得るところまでいっていないと考えられる。能代市を好きな市民の割合と同様に、住みやすいと思う要因は、自然や文化等の地域資源のほか子育て支援などの各種施策、公共交通や買い物環境等、様々考えられる。引き続き住民ニーズの把握に努め、各種取り組みを推進していく。	不調 (△<)

指 標	実績値 (R9)	目標値
市への相談を経て移住した世帯数	66	55
基準値	23世帯	55世帯
	(R2年度)	

推移の分析・考えられる要因	評価
首都圏での移住相談会への積極的な参加と移住支援のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中でも SNS 等を活用した移住相談や情報発信をしたことにより、増えたものと考えられる。	順調 (○)

【政策の評価】

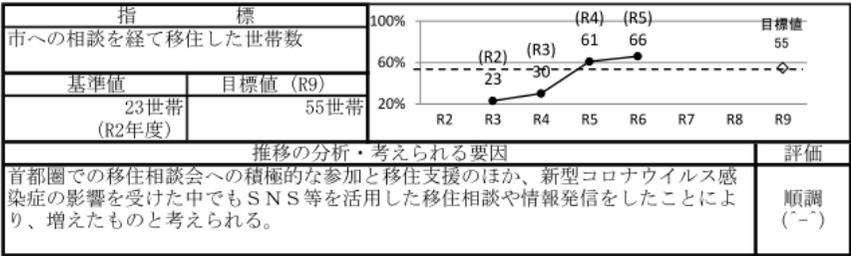
市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
-----------	--------------------

【ステップ2】 絞り込み 第3回（9月）

(2) 評価に対するコメント記入

実施計画資料等も参考に、評価に対してコメントを記載します。

- <作業2>
- ①各委員からのコメントの内容を確認
 - ②追加のコメントがあれば付箋で模造紙に貼り出す
 - ③それを元に話し合い、分科会としてのコメントにまとめる



【政策の評価】	
市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)

※コメント例

- ・不調の原因のひとつに〇〇があるのではないかと感じる
- ・〇〇との連携がもっと必要と感じる
- ・現在の市の考えを継続して事業を進めてよいと考える
- ・〇〇のような視点を取り入れれば、より効果があるのでは

ステップ1の評価を基に、新たな取組を提案する政策を、各分科会で2項目に絞り込みます。絞り込む視点としては、改善（不調→横ばい・順調）、拡大（順調→絶対好調）、維持（横ばい→横ばい、順調→順調）などが考えられます。

ステップ1において、「政策1（1）地域資源を活かした特色あるまちづくり」から「政策4（6）住民サービスに資する効率的な行財政基盤」までの合計20の政策を、1班から4班に分けて、政策を評価します。

このうち、例えば、「まずは不調な政策を改善しなければ。」とか「不調な政策はもちろん改善したいけど、現実的になかなか難しい。だったら、順調な政策をさらに伸ばしていこう!」とか「今後の社会情勢を考えると、いつ不調になってもおかしくない。当面は今の状態を維持したい。」といった視点で、新たな取組を提案する政策を各分科会で2項目に絞り込みます。